

道路アセットマネジメント Road Asset Management		新規 新機軸・高品質プログラム
対象国の条件：		
研修コース番号：(A) 201984918-J002/(B) 201984972-J002		
案件番号：(A) 201984918/(B) 201984972		
主分野課題：運輸交通/運輸交行政		
副分野課題：		
使用言語：(A) 英語/(B) 英語		
案件概要		
アセットマネジメントとは、橋梁などの道路資産（アセット）の現状を適切に把握したうえで、個々の資産の劣化（老朽化）・損傷を予測し、適切な時期に補修・補強を行うことで資産の長寿命化を図り、ライフサイクルコストが最小となる維持管理計画を実現させるものである。本件は、開発途上国で実施されている道路資産の維持管理作業及びそれらの中長期に亘り実施するための財源確保に向けて必要な知識・技術を習得することを目的としている。		
目標／成果		対象組織／人材
【案件目標】 日本国内における道路アセットマネジメント定着に向けた取組状況・研究開発状況の理解や点検データを活用した予算計画策定・健全度推移予測手法の理解・習得を通じて、自国の道路アセットマネジメントの定着に向けて必要な対応策や改善策が策定される。		【対象組織】 対象国の道路アセットの整備・維持管理を管轄する機関 【対象人材】 道路アセットの整備・維持管理計画を策定する若手・中堅の道路行政官／英語が堪能であること
内 容		
【事前活動】 自国における道路資産の維持管理に関する現状、課題についてのレポートを作成する。		本邦研修期間 (A) 2019/8/1～2019/8/21 (B) 2019/11/1～2019/11/21
【本邦活動】 1．日本のインフラの現状、コンクリート構造物・鋼構造物の特徴と損傷、インフラ構造物のマネジメントの考え方に関する講義を行う。 2．以下の視察を行う。 1) 最先端の取組： 高速道路維持管理、補修・長寿命化技術、長大橋維持管理、点検管理の取組、点検・維持補修基準の整備、技術者育成 2) 大学の取組： 劣化構造物集約施設、長寿命化技術・先端道路管理技術の研究・開発、技術者育成 3) 地方自治体の取組： 予防保全の取組、技術者育成 4) 民間会社の取組： 先端道路管理技術の開発、舗装補修技術・材料・リサイクル技術 3．道路資産点検データの分析演習、予算及び健全度推移予測システム演習を行う。 4．各国の道路アセットの維持管理状況・課題の共有、帰国後のアセットマネジメント手法の定着に向けた活動計画の作成・発表・討論を行う。		
【事後活動】 1．上記活動計画の共有・発表・討議を行い、所属先の対応を含めた計画の見直しを行う。 2．活動計画に則った道路資産の維持管理の取組を実施する。 3．帰国後12か月後を目途に、実施状況に関するレビューレポートを提出する。		担当課題部 社会基盤・平和構築部
		所管国内機関 (A) JICA東京（経済環境） (B) JICA東京（経済環境）
		関係省庁 国土交通省
		実施年度 2019～2021
主要協力機関	(A) 調整中/(B) 調整中	
特記事項 及び ホームページ		